



さんらん 燦爛

たくさんの行事が続く 充実の9月がスタート!

9月に入りました。9月はたくさんの行事が予定されています。特に、明日4日(水)からは、1年生が職場訪問、校外学習、着衣水泳体験、薬物乱用防止教室と続き、2年生は、キャリアスタートデイズ(職場体験)、そして3年生は修学旅行と、各学年にとって非常に重要な3日間となります。

その後も14日(土)からは郡市新人総体、20日(金)は前期期末テストなどがあり、9月の下旬からは10月12日(土)の西中祭に向けた準備も始まることとなります。

前期の締めくくりに向けて忙しさを増す9月ですが、毎日の生活や出来事が心と体の成長につながる1か月にしてほしいと思います。

8月30日(金)に、大川西根小で行われた「藝大フィルハーモニア管弦楽団弦楽四重奏アウトリーチコンサート」を本校の全校生徒も鑑賞させていただきました。

これは、プロのアーティスト等との交流により、誰もが文化芸術に親しむことができる機会をつくり、秋田県文化芸術を担う若手の育成を図るとともに、文化芸術活動や地域の活性化につなげることを目指して、秋田県が行っている「文化芸術による地域交流活性化事業(アウトリーチ)」の一環で行われることになったものです(アウトリーチとは、文化芸術に興味、関心を持たせることを目的としてプロのアーティストを地域の学校等に派遣し、ワークショップやミニコンサート等を行う普及活動のことです)。

間近で生の弦楽四重奏を鑑賞 大川西根小を会場に今年2回目の芸術鑑賞



今回来てくださった藝大フィルハーモニア管弦楽団は、東京藝術大学に所属するプロ

のオーケストラで、今回は、コンサートミストレル(オーケストラの取りまとめ役)である澤亜樹さんをはじめ、各パートの首席奏者(パートリーダー)による弦楽四重奏を聴かせていただきました。小学生にも親しみやすい有名な曲を中心としたプログラムでしたが、もちろん西中生も楽しんで聴くことができました。質問コーナーでは、小学生にも負けない勢いで手を挙げて質問する西中生の姿も見られました。

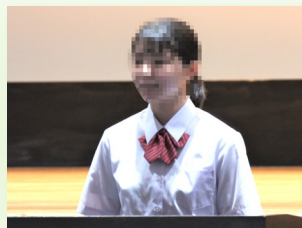
6月に行われたわらび座のミュージカル鑑賞と同様に、間近でプロの演奏を鑑賞できたことは、生徒たちにとって大きな財産になると思います。



英語暗唱弁論大会に 2名の生徒が出場

8月30日(金)に、美郷町公民館で「第75回大曲仙北英語暗唱弁論大会」が行われました。本校からは、暗唱の部にN.Iさん(3年)と、K.Nさん(3年)の2名が出場しました。

N.Iさんは、「A Mother's Lullaby(お母さんの子守歌)」というお話の暗唱を発表しました。これは、79年前の広島に原爆が落とされた日、必死に生きようとした子どもたちの悲しいエピソードです。N.Iさんは、前日の駅伝の疲れも見せず、感情のこもった暗唱を披露しました。



N.Iさんの発表

K.Nさんは、有名な「The Diary of Anne Frank(アンネの日記)」の暗唱です。これは、ナチスの迫害から逃れるため、家族と共に隠れ家で2年間生活したアンネ・フランクが、人権や戦争、平和について記した日記ですが、K.Nさんも丁寧な語り口で発表することができました。



K.Nさんの発表

夏休み中、繰り返し練習に励んできた2人ですが、いずれもたくさんの聴衆の前で、平和への願いをテーマとした暗唱を堂々と発表できていたと思います。審査の結果、N.Iさんは優秀賞、K.Nさんは優良賞を受賞しましたが、この2人の暗唱は、10月12日(土)の西中祭でも披露する予定になっておりますので、お楽しみにしてください。